

本時の目標 本時の展開

□制 作

6. 本時の目標

- これまで集めた資料を見直して、プレゼンテーションにおいてチームとして提案したいことが、伝わるような資料を話し合いを通して選ぶことができる。
(人権同和教育の観点から)根拠ある情報を選ぶことができる。

7. 本時の展開

ねらい	児童の学習活動	教師の支援	留意点など
プレゼンは、調べたことをみんなで交流するだけでなく、自分たちの提案はこれでいいのかを確かめる機会なんだな。発表会ではないんだ。いったいどうやって進めたらいいのかな。少し心配になってきたけれども、がんばるぞ！			
①集めた情報を全員で俯瞰できるように準備をする。 ②プレゼンテーションの基本情報を確かめる。	①集めた情報を並べる。 ②プレゼンの日時や場所、聞いてくれる人や人数を確認する。	①全ての情報をチーム全員で見ることができるように場の設定をする。 ②基本情報として模造紙に書き出して提示する。 ・最後にチームの持ち時間を発表する。→3分！	※多くの資料を集めることができたのは、願いをもって協力できた成果として、認め励ます！ ※前時子どもたちは10分程度はほしいと話していたが、3分にすることで提案を明確にして伝えなければ！という切実感を持たせたい！
3分間で、提案をみんなにわかってもらえるように、これが大事！という情報を選び出そう！			
③「何を」提案するのかを、活動前に再度確かめる。 ④話し合いのイメージをもつ。	③チームの提案の中から、「ポイントとなる言葉」を話し合い、模造紙に線を引き。 ④資料を選び出す場面を教師が演じて見せる。 ＜仲間分けする＞ ＜名前をつける＞ ＜代表を決める＞これが大事！という情報	③選ぶときのより所とするように意識づける。	※3分間を意識させ、大切な情報を選び出す過程で、仲間分けが必要になる。この仲間分けが、提案を具体化している姿と考える。
⑤大切な情報を選び出すことを通して提案内容を具体化する。 20分	⑤集めた情報を仲間分けして、これが大事！という情報をしぼり出す。	⑤世界の人たちと仲よくすることにどうつながるかとかと常に問いかける。	
⑥発表方法の制約を通して、わかりやすく伝える工夫の必要性に気づかせる。 35分	⑥模造紙2枚を使った発表形式のプレゼンであることと、模造紙を使うよさを説明する。 ＜全体を見て、一目で伝えられること＞ ＜残る物なので、発表後も見ることができること＞		※模造紙を使うことがここで初めて明らかになる。 ※時間の制約と発表方法の制約を分けて提示することにより、話し合いを焦点化する。
⑦聞き手を意識して提案をするための工夫をすることができる。 50分	⑦選んだ資料の中から、伝えたいことが一目で分かるような写真やグラフ、図を選び出す。	⑦「一目で分かる」に注目して、選び出した資料を見直すよう働きかける。	
⑧自己評価する	⑧自己評価を記入する。	⑧シートを回収する。	
みんなと話し合っって大事な資料を選ぶことができてよかった！大事な資料を選んでいたら、みんなに伝えることもずいぶんはつきりしてきたよ！3分間は、やはり短いけれども、みんなにわかってもらえる提案ができそうだな。次の時間はこれをもとにして下書きを作るのだな。			



